

東御市
社協報

ほほえみ

38号

平成23年1月17日発行

編集発行 社会福祉法人
東御市社会福祉協議会
長野県東御市鞍掛197
(総合福祉センター内)
TEL (0268) 62-4455
FAX (0268) 64-5695
<http://www.tomisyakyoo.or.jp>
印刷 (有)グリーン美術出版

社協報「ほほえみ」の名称は明るく夢をもって笑顔で暮らせる地域の福祉づくりを進めていくことから名づけられました。

▶おせち料理づくり



◀介護の日福祉講演会



誰もが
安心して
暮らせる
福祉の
まちづくり



▲いきいきサロン
(曾根区)



▲上小ブロックボランティアフォーラム



▲祢津小学校出前講座

▲いきいきサロン (大川区)

○会長 新年のあいさつ

○「第7回 障害者福祉のつどい」

○おらほの区のふくしかつどう

○月間スナップ

○ボランティアかわら版



この社協報は共同募金配分金によって印刷したものです

あけましておめでとうございます

新年のあいさつ

東御市社会福祉協議会 会長 増田 勝仁

新年明けましておめでとうございます。皆様には希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は社協の事業や活動にご支援ご協力を賜り誠に有難うございました。高齢者福祉事業の一環であります「いきいきサロン」などに、年間のべ8000人という大勢の方々に参加いただき、元気な交流の場を持つことができ感謝いたします。

今年は、第二次東御市地域福祉活動5カ年計画実施3年目を迎え、福祉事業及び活動を充実させ、目標としています「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を、住民主体の地域福祉の理念として推進してまいります。

また、高齢者や障がい者など、さまざまな身近にある福祉課題を地域の皆さんと共有し、その解決に向けた自主的な地域福祉活動の定着を図ってまいります。

本年も職員一同、地域で「共に生きる」「支えあって生きる」「暖かい人と人とのかわり合い」という共生文化の社会を築いていくことをめざす社会福祉協議会として、精一杯努めてまいります所存でございます。

結びに、新しい年が皆様にとって明るく幸せな年となりますようお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



謹賀新年

旧年中は、東御市社会福祉協議会の事業にご理解とご協力をいただき深く感謝申し上げます。新年を迎え、市民の皆さまが「お互いさま」の気持ちで互いに助け合い、健やかに生きがいをもって暮らすことのできる地域を目指して、職員一同福祉のまちづくりに取り組んでまいります。今年もよろしく申し上げます。 職員一同

「第7回 障害者福祉のつどい」ひらく

11月26日、東御市の福祉団体などでつくる実行委員会は障がい者の福祉について理解と関心を深めることを目的に、「第7回東御市障害者福祉のつどい」を中央公民館で開き、約210人が参加しました。これは、12月3日～9日の「障害者週間」に合わせて開催したもので、障がい者団体の活動に貢献した人や芸術部門で活躍した皆さんの紹介のほか、度重なる手術を乗り越えてきた人の体験談、障がいを持ちながら地域の企業で長年勤務され表彰された皆さんの家族からのメッセージなどが発表され、障がい者福祉について理解を深めました。また、福祉講演では社会福祉法人小諸学舎・財団法人一羔会の常務理事・学舎長の小松敏幸さんが「地域に拓かれた福祉づくり」について、制度も含めて分かりやすく講演しました。



講師の小松敏幸さんは福祉づくりについて講演



会場には210人が参加しました



あいさつする田辺いく子実行委員長

おらほの区のふくしかつどう

原 口 区

原口区では11月14日、原口公民館で区民の作品展とあわせて「いきいきサロン」を行いました。

会場には花岡一郎福祉運営委員長はじめ若林勝好区長ほか約40人の皆さんが参加し、輪投げやお手玉遊びなどのゲームで、成績点数表をみて一喜一憂しながら時間を過ごしました。昼食会では、民生児童委員、福祉運営委員ほかボランティアの皆さんによる手作り料理をいただき、各人が持ち寄った童謡・唱歌を合唱して楽しい時間を過ごしました。



▲福祉運営委員長の
花岡一郎さん



楽しい昼食会

常 満 区

常満区では11月14日、工藤浩平福祉運営委員長はじめ男女8人が常満団地集会所に集まり、「いきいきサロン」を行いました。

参加者は、準備された室内用のスロットボールゲームや頭の体操などで、時の経つのも忘れるほど夢中で時間を過ごし、その後はお茶会で楽しい時間を過ごしました。

工藤委員長は「2か月に1回のペースで料理講習や健康相談・健康体操など、定期的に実施したりして充実した日々を過ごしています」と話しました。



▲福祉運営委員長の
工藤浩平さん



スロットボールってむずかしいネ

「介護の日」福祉講演会

11月11日は介護の日。東御市社会福祉協議会では介護の日に合わせて、福祉講演会を中央公民館で開催しました。「介護の日」は、介護についての理解と認識を深め、地域社会の支え合いや交流促進を図ることを目的に行うもので、講師にエッセイストの羽成幸子さんを迎え、「介護する側、される側の心のあり方」について羽成さん自身の長年にわたる介護体験から、ユニークな発想で介護する側とされる側の心のあり方について分かりやすく講演しました。会場には市民約150人が参加し、熱心に聞いていました。

5人の介護体験
をお話しいただ
きました▼



▲エネルギッシュな
講演にひきこまれ
ました

月間スナッポ

日赤奉仕団視察研修

11月15日、日赤奉仕団員が長野市防災市民センターと赤十字歴史資料館へ視察に行ってきました。防災市民センターでは地震体験装置と火災消火装置で、地震の恐ろしさと消火器の効果的な使い方などを実際に体験しました。また赤十字歴史資料館では、明治時代からの赤十字の貴重な資料を見学しました。



介護予防センターくらかけ交流会

12月1日と3日、介護予防センターくらかけの交流会を上田市ふれあいさなだ館で行いました。当日は、ジャンケン大会等のゲームを楽しみ、おいしい食事と温泉を満喫しながら交流を深めました。

宅老所くるみの家交流会

12月10日、宅老所くるみの家で交流会を行いました。交流会では、地元・大石区の神谷まつ子さんのマジックショーを楽しみ、ボランティアの皆さんの手作りのおいしい料理で交流しました。

在宅介護者リフレッシュ交流会

11月18日、日ごろ在宅で介護している皆さんを対象に、介護者リフレッシュ交流会が行われ、新潟県魚沼市方面へ一泊で出掛けました。1日目は、越後ゆきくら館の珍しい雪中貯蔵の酒蔵や越後日光開山堂の素晴らしい彫刻を見学しました。ホテルでは心のこもった地元の料理を堪能しながら、歌などで参加者同士交流を深めました。また、2日目は寺泊で海産物の買い物を楽しみ、リフレッシュした2日間を過ごしました。



おせち料理訪問事業

12月29日・30日に、おせち料理訪問事業が行われました。在宅で年末年始を一人で迎える75歳以上の一人暮らしの高齢者や父子家庭などに、民生児童委員の皆さんに協力いただき、まごころこもった手作りの「おせち料理」を届けました。民生児童委員は朝から手作り料理に励み、色どりあざやかな、おいしい「おせち」ができました。

平成23年度「おらほの地域福祉づくり事業」 対象支部を募集します

社会福祉協議会では、平成23年度の「おらほの地域福祉づくり事業」対象支部を募集します。この事業は「困った時はお互いさま」の気持ちをもう一度思い出し、“人とひと”との「つながり」や「支え合い」を大切にしながら、地域で明るく元気に暮らすために活動する支部に対して助成します。詳細は下記のとおりです。

- ◆平成23年度の対象支部（区）は公募により選ばれた4支部（区）です。
- ◆公募により選ばれた支部（区）には年間5万円程度の活動助成をします。
- ◆実施期間は平成23年4月1日から1年間とし、2年間の継続ができます。
- ◆活動内容は、地域の助け合いマップの作成やボランティア組織の立ち上げ、いきいきサロン活動の活性化など、取り組みは自由です。
- ◆社協職員が相談に応じ、一緒に推進していきます。
- ◆申し込みは、支部（区）長、民生児童委員、福祉運営委員の皆さんを中心に発起人会を立ち上げていただき、申請をしていただきます。
- ◆募集期間は4月28日（木）までです。

●問い合わせ・連絡先

東御市社会福祉協議会地域福祉係 ☎62-4455

桜井区の取り組みから

桜井区では、「おらんち会」と称して、活動しています。先日はマレット大会が桜井神社マレット場で開催されました。このマレット場は区民皆で汗を流した手作りの「いこいの里マレット場」です。今年4月から11月まで定例の大会を開催してきました。そして“人とひと”との会話を楽しみ、絆を深める時間を皆で共有し喜びを分かち合いました。

また大会後のお茶の時間も楽しみの一つで和気あいあいと近況を語り合い、親交を深めました。



地域福祉懇談会を開催します

社会福祉協議会では、各支部（区）の新年度のスタートに併せて地区別の地域福祉懇談会を開催します。この懇談会は、社会福祉協議会が実施する地域福祉事業を、地域で福祉活動を推進していただく皆さんにご理解をいただき、いきいきサロン等の地域福祉活動が各支部（区）において活性化できるよう開催するものです。日頃の地域の悩みや支部（区）の福祉活動について、参加者同士で一緒に考えてみませんか。懇談会の詳細は下記のとおりです。

1. 開催日程

開催地区	開催日	会場
北御牧地区	平成23年2月16日（水）	北御牧公民館
滋野地区	“ 2月18日（金）	滋野コミュニティーセンター
祢津地区	“ 2月21日（月）	総合福祉センター
田中地区	“ 2月25日（金）	中央公民館
和地区	“ 2月28日（月）	和コミュニティーセンター

ぜひご参加下さい。



2. 開催時間 午後1時30分から午後4時位まで

3. 参集者 支部（区）長、民生児童委員、福祉運営委員、老人クラブの役員の皆さん、地域で活動するボランティアグループの皆さん等

4. 懇談会内容

- （1）社会福祉協議会の事業について
- （2）福祉運営委員の役割と活動について
- （3）いきいきサロンの助成等について
- （4）支部（区）ごとの懇談会 など

ボランティアかわら版



上小ブロックボランティアフォーラム

12月4日、東御市総合福祉センターで実行委員会と上小地域の社会福祉協議会が主催し「上小ブロックボランティアフォーラム」を開催、約150人が参加しました。

午前にはNPO法人 やじろべー理事長 中澤純一さんが「認知症を理解し、認知症を支える地域づくり」の演題で講演しました。午後は「ボランティア発！ 地域ぐるみの支え合い」をテーマに、地域でボランティア活動を行っている3人が事例発表し、シンポジウムが行われました。



講演の中から

- ・ボランティアは、相手を正しく理解することから始まる。
- ・ボランティアがまちづくりの担い手となり、地域のリーダーとして育つことが期待されている。

シンポジウム

テーマ「ボランティア発！

地域ぐるみの支え合い
～誰もが安心して暮せる
地域づくりをめざして～

シンポジストの話から

- ・人の話を聞くときのポイントは、「相手が話しているときに口を挟まない・辛抱強く聞く・結論は出さない・相手の価値観を尊重しながら気持ちを受け止める」など。
- ・人は話を聞いてもらうことで自分を認めてもらっていると感じる。
- ・訪問した時の表情が、帰るときには明るい表情に変わっている。
- ・活動を通して社会貢献ができ、仲間が増える。



▲シンポジウムでは、上小地域でボランティア活動をする皆さんが発表



▲熱心に耳を傾ける参加者

ボランティア笑顔のルール



☆東御市のボランティア連絡協議会加入団体にインタビューをします。

その6

「りんどう会」
田辺いく子さん
連絡先 電話63-5445



Q 活動内容を紹介してください

障がいを持つ当事者が、ボランティア活動、スポーツ、講演等に積極的に参加し、健康を維持しながら社会参加の機会を作っています。ボランティア活動は、地域の集まりで話し相手、社会福祉協議会の催物や福祉体験学習のお手伝い、市内公共施設の清掃活動等に取り組んでいます。

Q ボランティア活動をして楽しい、良かったと思う時はどんな時ですか？

相手の笑顔が見られること。

Q ボランティア活動をする際に大切にしていることは？

どんな人でも、自分と同じ目線で差別をしない。子どもでも大人でも、対等な立場で話をするにより、話しやすい雰囲気になるよう心がけています。

Q メッセージをお願いします

障がい者・健常者という枠を取り払い、誰とでも親しく声をかけあってふれあいの輪を広げたいです。なんとなくあると感じる「差別」をなくして、「平らな世の中」になっていけたらと思います。

☆☆☆☆次回は「アンダンテの会」の山丸さんです。☆☆☆☆

福祉体験学習 出前講座 参加者の感想

柵津小学校

・10月6日、5年生・6年生90人



車いす体験

- ・校庭はでこぼこしていて大変だった。
- ・坂道や段差では、一人で移動するのは難しいと分かったので、車いすに乗っている人が困っていたら、声をかけたい。



手話体験

手話ならではの良さは、「声では届かないことでも身振り手振りで分かる」こと。大変なところは「声の抑揚で感情を伝えることができないので、表情をつけなくてはならない」こと。



高齢者疑似体験

お年寄りを見ているだけではつらさが分からなかったけれど、この体験でお年寄りの気持ちが少しわかった。



点字体験

- ・点字を覚えるのはすごく大変。
- ・もっと点字の付いている品物を増やして視覚障がいの方が判別しやすいような工夫が欲しい。



アイマスク(対話型鑑賞)体験

- ・アイマスクをつけている人に絵の説明をするとき、大きさや色だけでなく絵を見て思ったことを相手に分かるように伝えた。
- ・講師の広沢さんは笑顔で明るくてすごいと思った。

田中小学校

・11月19日、5年生103人

車いす体験

- ・車いすに乗っている人がいたら、まず相手の気持ちを聞いてから介助をしたい。
- ・車いすがもっと使いやすく楽に乗れるようにならないかな、と思った。



高齢者疑似体験

- ・お年寄りになると、私たちが普通にやっていることが難しくなって、生活するのが大変だと思った。
- ・自分もいつかはお年寄りになるから、おじいさんやおばあさんを大事にしたい。



・11月16日、
4年生87人

点字体験

- ・自分が打った点字を出沢さんに読んでもらい嬉しかった。
- ・出沢さんのお話を聞けてよかった。

和 小 学 校

・11月30日、4年生67人

視覚障がい者(対話型鑑賞)体験

- ・目が不自由な方に「伝える」ことは、とても難しいと初めて分かった。
- ・自分では分かりやすいように説明しているつもりでも、相手がどう感じるかが大切だと思った。



滋野小学校

・11月29日、6年生44人

高齢者疑似体験・車いす体験

- ・お年寄りになると手足が不自由になることが分かった。
- ・車いすは1人で動かすことより介助する人がいた方がよい。





(11月・12月の受付分です)



▲上小理容組合様



▲東御キリスト教会様



▲東御ライオンズクラブ様

匿名様	介護用品
東御キリスト教会様	
チャリティーバザー売上金	75,500円
匿名様	19,623円
匿名様	介護用品
別府清信様	48,123円
上小理容組合様	タオル、16,000円
長命寺、東御市くらしの会様	
消費生活展バザー売上金	10,000円
匿名様	介護用品
匿名様	タオル
東御市ライオンズクラブ様	50,000円
匿名様	500,000円

ウエス(清拭布)をありがとうございます

(11月・12月の受付分です)

新屋百寿会様	
匿名様(滋野)	
匿名様(東町)	
花づなの会様	
匿名様(本海野)	
田中長寿会様	



くるみおはぎプレゼント

道の駅「雷電くるみの里」より宅老所「くるみの家」の利用者の皆さんに手作りの「くるみおはぎ」がプレゼントされました。



◆職員募集◆

社会福祉法人東御市社会福祉協議会では次のとおり職員を募集します。

★職種・人数

訪問介護員(ホームヘルパー) 若干名
介護支援専門員(ケアマネージャー) 1名

★募集期間 平成23年3月末日まで

★選考試験日 期日 後日指定

場所 東御市総合福祉センター

★申し込み 職員採用試験申込書・履歴書・資格証明書・健康診断書を添えて期限までに東御市社会福祉協議会事務局まで提出してください。

★問い合わせ先

社会福祉法人東御市社会福祉協議会
事務局 東御市鞍掛197 ☎62-4455

社協の予定

2月4日(金) 東御市ボランティアセンター視察研修(茅野市)

2月16日(水)、17日(木)

第3回布団の丸洗い事業

2月16日(水)~28日(月)

地区別地域福祉懇談会

3月2日(水) 介護者リフレッシュ事業(長門温泉やすらぎの湯)

結婚したい!人のハッピーな情報がつまってる
ウェディングプロデュース

東御市結婚相談所



相談には直接
本人がお越し
ください

無料



♥開設場所 東御市中央公民館

♥開設日 毎週日曜日 午前9時~正午

♥問い合わせ先 東御市社会福祉協議会

♥☎62-4455 FAX64-5659

編集後記

明けましておめでとうございます。私ごとですが、今年は地域の公民館役員となり、早速「どんど焼き」から行事がスタートしました。1年間、地域の行事に追われる思いもありますが、災害や犯罪に強い地域は、日ごろから人と人とが深く繋がっている地域と聞きます。昔のような、大勢集まって行う行事とはいきませんが、今の時代に合った地域の交流を考え、工夫しながら楽しい公民館活動に繋がりたいと思います。

田中